

シラバス参照

講義名	学校図書館メディアの構成
E-Mail	
シラバス担当教員	中地 文
代表教員(成績担当教員)	吉植 庄栄
授業担当教員	吉植 庄栄
授業コード	3BB2700
免許分野	
履修対象学年	1-
対象入学年度	R4
次年度出講予定	集中
単位数	2
毎週授業時間数	(2)
授業形態	講義
定期時間割	集中
集中	
講座/専攻	全学共通科目運営部会

授業概要	GIGA スクールや探究学習に対応する新しい学校図書館のプランを作成して発表するという課題に取り組みながら、図書館・学校図書館で取り扱う資料(メディア)について実践的に学び、学校図書館業務を円滑に行うことができる能力を養う。授業は、《講義→個人課題→班別討議→課題提出》の流れで進める。
授業の到達目標	① 図書館・学校図書館の役割と在り方、及びそこで取り扱う資料(メディア)についての理解を深める。 ② 情報探索技術を高めるとともに、選書、目録、分類の知識を身につける。 ③ 現代の教育課題に対応する学校図書館について検討する力を養う
授業計画	第1回: ガイダンス・図書館とは何か?と調査記録(1) 第2回: 図書館とは何か?と調査記録(2) 第3回: 選書(1) 第4回: 選書(2) 第5回: 学校図書館での資料管理と書架配置(1) 第6回: 学校図書館での資料管理と書架配置(2) 第7回: 目録(1) 第8回: 目録(2) 第9回: 分類(1) 第10回: 分類(2) 第11回: プレゼンテーション基礎(1) 第12回: プレゼンテーション基礎(2) 第13回: プレゼンテーション応用(3) 第14回: プレゼンテーション応用(4) 第15回: まとめ
準備学修の内容と必要な学修時間(目安)	【予習】配付された文献を読み、提示された課題についての考察を深める。(45分) 【復習】班でのディスカッションや協働作業を通して、講義で得た知見を定着させ、新たな発見や気づきを見出し、協働の学習成果物を創出する。(45分)
成績評価の方法	・毎回の課題[30点=15回×2点] ※課題を提出して出席とする。 ・発表[30点=20点(受講者から)+5点(質問等)+5点(吉植から)] ・最終レポート[30点] ・調査記録: 関係ある文献 5本×2=10点 注: 以下の場合、弁解の余地なく機械的にDを付与する。 ・出席(課題を提出して出席扱い)が3分の2以下 ・レポートを提出しなかった場合 ・総点が60点以下の場合

教科書・参考書		
履修に当たっての留意事項・メッセージ 授業評価へのアンケートへの返答	<p>レベルの高い内容で講義と実習を実施するので、「学校経営と学校図書館」「学習指導と学校図書館」を履修した後に受講することが望ましい。毎回、個人課題を課すほか、班別課題（動画によるプレゼンテーション）を課し、アカデミックスキルの養成も同時に行うので、将来学校図書館（或いは図書館）に携わる強い志を持つ者のみ受講を推奨する。 授業は、対面での実施を予定しているが、授業中の指示以外の授業に関する連絡はClassroomを通じて行うので、履修登録者は早めにClassroomに参加（メンバー登録）して欲しい。</p>	
関連リンク	1. Google classroom 学校図書館メディアの構成	クラス コード tef2h3p
備考	上記授業計画のうち実務経験を有する教員の授業回等	